

子宮頸がん検診を受けられる皆様へ

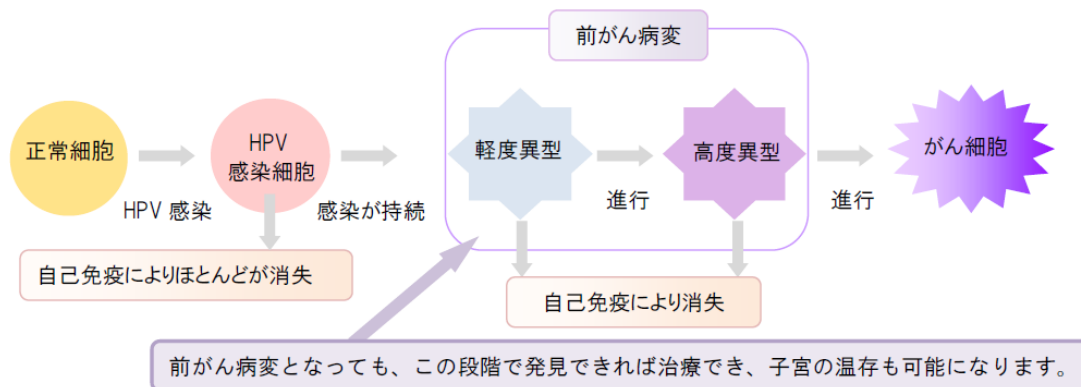


子宮頸がん検診のオプション検査として

「HPV検査」を実施しています。

●「子宮頸がん」は、ヒトパピローマウイルス(HPV)への感染が主な原因です。

子宮頸がんが発生する原因は、ヒトパピローマウイルス(HPV)に持続的に感染する事と考えられています。HPVは性交渉により感染し、多くの女性が一生に一度は感染すると言われる、ありふれたウイルスです。ほとんどの人は、ウイルスに感染しても免疫の力で排除されますが、約10%の方に、ウイルスが排除されず、持続的に感染が続く場合があり、その中の一部の方に細胞の異形成が起こり、がん化する事があります。



「HPV検査」は、今までの子宮頸がん検診(細胞診)と併用して検査をおこなう事で、将来、子宮頸がんになる危険度をチェックします。

HPVは100種類以上あり、このうちハイリスクと呼ばれるHPVは約15種類。中でも16型と18型が子宮頸がんから高頻度に検出されます。HPV検査により、この高リスクのHPVを検出し、将来のリスクを予測することが出来ます。

HPV検査は、ハイリスクのHPVへの感染が持続しているか、消失しているかを調べる検査になります。

※検査では14種類の高リスクのHPVウイルスへの感染の有無を調べます。(全ての型別判定はできません)

子宮頸がん検診(細胞診)で採取した細胞で検査できます。

(検査価格) HPV検査 4,950円

※HPV検査は30歳以上の方にお勧めしています。

<お問い合わせはこちらまで>

地方独立行政法人

岐阜県立下呂温泉病院 総合健診センター

電話:0576-23-2233(直通)

(月～金曜日 13:00-16:00)